

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 Salut
活動テーマ	つながる marche!2018 フォーラムの企画・運営・開催及びフォーラム講演録の小冊子化・配布



日本で暮らす私たちにとって「防災」は重要なテーマです。防災や減災の手引きなど啓発の働きは盛んになっているものの、「災害弱者」といわれる方々に寄り添ったものはいまだ少なく、また、防災や減災を方法論だけで乗り切ろうとすればかえって本質的な問題から遠ざかってしまうという懸念が強くなりました。そこで、「本当に必要な災害への備えとは何か」を考えるために、2018年11月24日（土）、ワコールスタディーホール京都にて、「くらしと災害フォーラム 2018—女性の直感とまなざし」をテーマにフォーラムを開催しました。フォーラムは、男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表/前千葉県知事の堂本暁子さんと鈴木大拙館 名誉館長/日本民藝館 評議員の岡村美穂子さんを講師に、NPO 法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表/詩人の上田假奈代さんをナビゲーターにお迎えしました。また、フォーラムを記録に残し多様な人と「くらしと災害」について議論を深めるため、講演録の抜粋と参加者10人の寄稿文で構成した小冊子を発行しました。

活動で得られた成果としては、1. 災害は、日常生活の中で起きる出来事であり、災害時の被災者支援において女性の視点が軽視されている実態や女性被災者にしわ寄せがのしかかっている現状は、災害時に起因する一過性な現象ではなく、災害をきっかけに鮮明化していることが明らかになった 2. 1の現状を変えていくためには、女性が「自立する」ことや「声をあげる」ことが大変重要であることを確認し合えた 3. 日常からモノに頼る生活だけでなく、自然や人とのかかわりあい等、本質的な問題を問いなおすきっかけがつけられたことが挙げられる。